

住む人・使う人が主人公！

私たちは住む人・使う人の
立場に立って設計しています。
お気軽にご相談下さい。

京都建築事務所

〒 604-8083

京都市中京区三条柳馬場東入中之町10

代表取締役社長 川下 晃正

TEL (075) 211-7277

FAX (075) 211-7270

http://www.kyoto-archi.co.jp/



クリエイツかもがわ

〒601-8382 京都市南区吉祥院石原上川原町21

http://www.create-k.co.jp

TEL 075 (661) 5741 FAX 075 (693) 6605

送料何冊でも240円

子育てしていた若いころが一番楽しかったおばあちゃん、セルロイド人形のキューちゃんといつも一緒です。孫の節ちゃんから見たおばあちゃんの世界や家族のかかわりとは。

赤ちゃんキューちゃん
宮本ジジ／え 「シリーズ」

このごろおじいちゃんは「ちよつとへん」と言われます。なぜ手帳に名前を書いているの？ 何度も同じ話をするの？ でも、ぼくには今までと変わらないよ。

最新刊



おじいちゃんの手帳
よしだよしえい／え 「シリーズ2」

本にも
絵にも
「認知症」
全5巻

藤川幸之助／さく
20×24.7cm・29頁 各1800円＋税

園や小学校、家庭で
「認知症」が学べる
総ルビ・解説付き

「認知症を伝える」ではなく「認知症で伝える」

認知症を知識として伝えるのではなく、認知症の本人、家族、周囲の人の思いやつながりから認知症を学び、こどもの心を育てます。

3 一本の線をひくと (2020年7月発行予定) 4 赤いスパゲッチ (2020年9月発行予定) 5 じいちゃん、出発進行！ (2020年11月発行予定)



20数年来の夢が実現！ 城東老人ホーム引っ越しで全室個室に

約50年間、特別養護および養護老人ホームとして、たくさんの入居者さんが過ごされてきた城東老人ホーム。2018年10月からはじまった建て替え工事がようやくおわり、3月末にみんな引っ越ししました。

新施設は鉄筋5階建てで、1階にデイサービスセンター、地域交流スペース、事務所、厨房があり、2階から上は特養と養護、短期入所の居住スペースです。階によって柱や欄間、テーブルの色が異なり、各階でそれぞれちがった印象になっています。職員や関係各所の方々と知恵をあつめて、すてきなホームができました。



旧施設は多床室でしたが、新施設では念願の全室個室が実現！「お部屋が広すぎて慣れないわ〜！でも、一人部屋だと気を使わないのはいい」と入居者さんもうれしそうです。

みなさんのお気に入り、プランターの菜園がある屋上と、中庭が見える窓際にある一人がけソファのようです。



新型コロナウイルスの影響で、城東老人ホームでも4月以降、面会禁止やお散歩などの外出ができない日が続いています。入居者さんもストレスがたまる日々ですが、屋上のプランターには野菜を植え、先日はみんなでラディッシュを収穫しました。



旧施設では、食事は職員が全介助をおこない、居室のベッドの上でとっていただいていたHさんです。床走行リフトを使って離床し、おなじユニットの入居者さんといっしょに食事をとれるようになりました。自分で食べるのは、Hさんもうれしそうです。

いまは新施設をみなさんに見学していただくことも叶いませんが、あたらしい施設で気持ちもあらたに、入居者さんの笑顔あふれる、質の高い支援をおこなっていきたいと思います。

(写真・文 城東特別養護老人ホーム施設長 中島素美)

【ひろばトーク】

小さな行動が、いつか大きな運動の潮流になると信じて

赤松 千代 6

福祉のひろば

2020年7月号

●特集● 日本で介護をまなぶベトナムの若者たち

【座談会】日本で介護の専門性を学びたい

グエン・ティ・トゥオン／グエン・ティ・フエ／ダオ・ワン・
バック／ド・ティ・イエン／平松一彦 10

介護の仕事は全部たのしい!! ホアン・ティ・トゥイ 20

堀川 真人

入職して2年目、外国人介護職員のいま 木下 万誠 24

日本の介護現場における外国人介護士の実態 新井 康友 26

●トピックス●

【PHOTO】すみれ保育園

新しくなった園舎で毎日お楽しみがいっぱい!! 30

コロナ禍で訪問介護の現場につもる矛盾 内田明代・桜庭葉子 32

アフターコロナ社会で急増が想定される失業者

いまあらためて労働組合のあり方を考える(前編) 脇田 滋 38

新型コロナウイルスと生活困窮者支援 藤原 望 44

コロナ感染拡大 生活保護など暮らしに役立つ制度での対応を

大口耕吉郎 48

コロナ禍のなかで釜ヶ崎はどう動いたか 小林 大悟 50

コロナ禍でつながった世界のソーシャルワーカーたち

中野加奈子 52

我一人、第三の道を行く

スウェーデンの新型コロナウイルス感染対策 訓覇 法子 56

●連載●

阿修羅がゆく わたしが好きな釜ヶ崎(12) 水野阿修羅 62

相談室の窓から

社会保障・社会福祉のあるべき姿を考える 青木 道忠 64

育つ風景

新型コロナ感染禍の真っただなかで 清水 玲子 66

ひととしてあたりまえに生きたい

大阪ろうあ会館事務局長として(2) 清田 廣 68

映画案内 『花筐／HANAGATAMI』

吉村 英夫 70

現代の貧困を訪ねて

野宿者への10万円特別定額給付金 生田 武志 72

似らすとれーしょん道場 似顔絵まんがアート

マスク「似顔絵」じゃ! ラッキー植松 74

ホームレスから日本をみれば

ありむら潜 76

花咲け! 男やもめ

川口モトコ 77

●表紙の絵●

神門やす子



みんなのポスト 60 / 福祉の動き 78 / 今月の本棚 81

●グラビア● 20数年来の夢が実現!

城東老人ホームひっこしで全室個室に

小さな行動が、 いつか大きな運動の 潮流になると信じて

ブックレット『じんけん・権利の再はっけん!』の
発刊に尽力いただいた

赤松千代さん

「この政治、おかしい」と感じたとき、その思いを発信することにはかなりの勇気が必要です。家族や友人、同僚など身近な人と話すとき、またツイッターなどのSNSで発信するとき、「政治的な発言」は嫌われがちです。場合によっては疎遠になる場合もあります。政治や社会に対する不信任や危機感がつるいっぽうで、自分ひとりが声をあげてもなにも変わらないというあきらめが、いまだ多くの人にはあると思います。

しかし、「おかしいと思ったことを発信することは当然の権利だ」と考え、発信・行動する人が増えたとも感じています。五月八日、内閣の一存で特定の検察幹部の定年を延長できるようになる「検察庁法改定案」に危機感をもった人がはじめた「#検察庁法改正案に抗議します」ツイッターデモは、多くの市民に広がり、投稿数は一〇〇〇万を超えました。新型コロナウイルスで医療や生活に大きな不安が生じているなか、そこへの対応よりも私利私欲にまみれた同法案を優先する政府に、疑問と怒りが噴出した結果だと思っています。

こうした動きや考え方は、コロナ禍のなかで生まれたものではありません。「おかしいと思ったら声をあげていい」という考えが市民の中に浸透してきたのは、二〇一一年三月一日以降、「反原発運動」からはじまった社会運動が、地道につくり上げてきた功績だと考えています。

東日本大震災と福島第一・第二原発事故によって、各地で「反原発運動」がさかんにおこなわれました。震災が発生したのは、私が大学四回生になる直前で、友人と反原発運動に参加したことが、その後大学院に進学し、社会運動を研究するきっかけとなりました。二〇一一年一月から三月一日までに開催された反原発集会・デモは、全国で五



あかまつ ちよ

2015年に立命館大学社会学研究科修了

2015年～19年京都民報社

2019年～（株式会社）関西共同印刷所

趣味：散歩、麻雀、漫画を読むこと

つでしたが、事故後開かれた集会・デモは同年四月だけでも三四に上ります。参加人数も多くて三〇〇人だったのに対し、野田佳彦首相が大飯原発三、四号機の再稼働を宣言した二〇一二年六月には、国会前に約二〇万人が集結しました。

運動の主催者・参加者は、これまでも原発運動をおこなってきた人々だけではありません。私のように、はじめてデモに参加したという大学生、子連れの父母、会社帰りのサラリーパーソン、参政権をもたない在日外国人など、多種多様でした。考え方もそれぞれで、「稼働するなんておかしい」と明確に怒りの感情をもつ人から、「原発のことはよくわからないけど、今の状況はなんだか変だと思う」と漠然とした思いで参加する人もいました。

考え方も所属もぜんぜん違う人々が、抗議行動に参加することで出会い、意見交流をしてきました。政権や情勢が変化し、集団的自衛権の閣議決定や安保法制の強行採決、ヘイトスピーチ、性差別、沖縄米軍基地、保育所問題など、さまざまな問題が表面化するたびに、「おかしい」と声をあげる人々が増えていきました。運動のなかで生まれた交流は、最初はひとつの問題だと考えていても、「根幹ではつながっている」複合的な構造であることに気づく場所にもなりました。さまざまな問題を、さまざまな立場から一緒に考える。三・一一以降の脈々とした流れが、市民と野党の共闘を生み出しました。街頭やSNSで可視化された抗議行動は、一部の人には嫌悪感をもたれつつも、同時に「おかしいと言っているんだ」という安心につながったと思います。自分たちの行動が、いつかはだれかの勇気に結びつき、また大きな運動の潮流になることに確信をもっていきたいです。

日本で介護をまなぶベトナムの若者たち

厚生労働省の「『外国人雇用状況』の届出状況まとめ」によると、昨年一〇月末時点で、日本ではたらく外国人労働者数は一六五万八八〇四人と、二〇〇七年に届出が義務化されて以降、過去最高を更新しました。国籍では、中国が二五・二％、ベトナムが二四・二％と両国で約半数を占め、フィリピン、ブラジル、ネパールとつづきます。産業別にみると、「製造業」が二〇・四％、「卸売業、小売業」が一七・四％、「宿泊業、飲食サービス業」が一四・二％、「建設業」が一〇・七％、「サービス業（他に分類されないもの）」が八・〇％、「医療・福祉」が四・八％です。

全体からみると、福祉現場、おもに介護現場ではたらく外国人労働者の割合はまだ多くはありません。しかし、二〇〇八年にEPAにもとづく介護福祉士候補者の受け入れがはじまって以降、現在では介護の仕事をすることで日本に滞在できる在留資格も増え、介護現場ではたらく外国人労働者が増えています。

国が介護現場での外国人労働者受け入れの門戸を広げる背景には、深刻な人材不足があります。介護に限らず、農業や漁業、製造業など、たいへんな割に低賃金で日本人が敬遠し、人材不足が慢性化している業種において、外国人労働者の需要が高まっています。そこには、日本人が嫌がる仕事でも外国人ならするだろう、日本人より低賃金でも満足するだろうという、外国人、とくにアジア人への差別意識が根強くあると思います。

昨年七月、イギリスのHSBCホールディングスが、「各国の駐在員が働きたい国ランキング」を発表しました。日本のランキングは、なんと三三か国中三二位です。日本より評価が低かったのは、ブラジルだけです。人気がないおもな理由は、収入が低い、ワークライフバランスが悪い、子どもの教育環境が悪い、などです。

もちろん、これは基本的に高収入と考えられる海外駐在員を対象にした調査なので、外国人労働者全体を反映しているものではありません。しかし、世界各国のようすを知っている人たちの、日本の評価だと思います。国を超えた人材獲得競争がすすむなかで、外国人労働者を「低賃金で働いてくれる雇用の調整弁」と考えるのは、時代錯誤です。

今号の特集では、日本の介護現場で働くベトナム出身の若者たちに話をうかがうことができました。彼ら・彼女らはみんな、日本の介護の専門性をまなびたいと話してくれました。それは裏を返せば、日本の介護の専門性は高いと評価されている、ということですから。そこを見落とし、そもそもの人材不足の原因となっている労働環境の改善や、よりいっそうの専門性の向上につとめていかなければ、将来的には「日本で介護をまなびたい」という外国人労働者もいなくなり、それは日本の介護の専門性の低下を意味します。

日々の実践やチームとしての仕事とおし、自分自身も人間的な成長を得られることが、介護をはじめ福祉の仕事の大きな魅力です。外国人労働者を受け入れることでより多様性がゆたかになり、これまでの「あたりまえ」を問い直したり、実践や思いを言語化し伝え合う機会が増えれば、現場にとってもあらたな可能性が広がるのではないのでしょうか。現実にはきびしい課題は多々ありますが、「世界に誇れる日本の介護をめざす」という視点で、外国人労働者問題を考えられればと思います。

(編集主任)